

▼別ショットの写真



とその他  
の保護者  
象にした  
もので、  
当日は暖  
かい気候  
にも恵ま  
れ、たく  
さんの参  
加者でに  
ぎわいま  
した。

今月の表紙は、4月12日に町民会館の芝生ひろばで開催された、春たよ！わくわくあそびランドでの一枚です。このイベントは、入園前の子ども

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ  
☎62-1111(内線334) FAX63-5139  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

## こたの民話

### わん貸し塚

むかし、野場の三田堂に、わん貸し塚という塚があったそうです。

むかしは、どこの家もお貧しくて、お客さんに出すお膳やお椀をそろえておくことなんかできませんでした。

急にたくさんのお膳やお椀が必要になると、村の人たちは、

「赤いお膳とお椀 十五組」

「黒いお膳とお椀 五十組」

などを書いて、わん貸し塚のほら穴の前に置いておきました。

そして、明るる日、塚の前に行ってみると昨日頼んでおいたお膳やお椀が、ちゃんとそろえてあるのです。

「どうもありがとうございます。

使いましたら、きちんと洗って、

数もちゃんと数えて、お返しいたします。どうかお貸しください。」

などといって、借りてきては使っていました。

ある時のことです。村の家で、それはそれは盛大な婚礼がありました。なにしろ、村一番の大家さんのところに、村一番とひょうばんの小町むすめのお嫁入りでしたから、男

の人も女の人も、村中総出のお手伝いでした。

「高さごや、このうら舟に、帆をあげて…」

と、仲人さんの謡いの声が響きわたりました。

こんな時、村の女の人は、お勝手係として大変です。お椀を洗う人、洗ったお椀をふきあげる人、紙に包み数を数えて箱にしまう人…大変な騒ぎでした。やっと納め終り、ふと気がついたら、お椀が一つ余っているではありませんか。

見れば見るほど、リっぱなうるしぬりのお椀です。

「今さら数え直すのも大変だわねえ。こんなにたくさんあるんだから、一つくらい、返さなくても…」そう思った手伝いの人は、そのままにしてしまいました。

それからというもの、もうわん貸し塚は、いくら頼んでも祈っても、お膳やお椀を貸してはくれなくなってしまうということです。

【こたの民話より（抜粋）】

## みんなの作品展!

平成28年度 幸田文化協会春の文化展（盆栽）からのセレクトです



いづつき みのる  
岩月 稔さん



はぎわら まさゆき  
萩原 正幸さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジタル写真の場合はメールで。)

## 川口三郎の言葉

### 「いづつが」

5月の異称といえは、「さつき」です。よね。「五月」のままでも「さつき」と読めますが、「早月」と書くのが正式のよつです。語源は「さつき」、「早月」とも書くよつに、「早苗月」から転じたというのが定説です。でも、以前小欄で、「早苗」は「挿苗」の当て字で、「この動詞形「挿苗」が「この地方の「さなえる」になったのではないかと述べましたが、この説からすると、「さつき」は、「挿苗月」から転じた「挿月」が語源と「さつき」になります……」

「ほーせるとさいが」、「ほーせき」も三河弁だということかな」といふ意味です。

もちろん「さつき」は方言ではないと断言して、本題に入ります。「さつきが」ですが、例文のように、「ほーせるとさいが」は「さつき」という意味です。「さつきが」があってもなくても、意味は変わりません。「さつきが」は、「さつき」とも「さつき」のように、動詞の終止形に付いて条件を表す接続助詞「と」に「際」が付いたもので、直訳すれば、「さつきと、その際に」となります。でも、意味が変わらないのに、なぜ「さつきが」を付けたのか、謎は解けません。(文・三郎)



青春  
トークリレー  
第278 走者

あだち たかのり  
**足立 貴則** さん

大草区在住 21歳

職業 社会人

身長 167cm 血液型 A型

好きなタイプ 明るく、元気な子

好きな芸能人 陣内 智則

みなさん、こんにちは。私は中学生の頃から続けている卓球を今でも趣味としてやっています。

長く続けているので、試合を通じて仲良くなった知り合いもたくさんできました。その中でも、学生の時に知り合った友達とは、部活の思い出話でいつも盛り上がります。

今は週1回、地元の中学生と練習させてもらえる機会をいただき、中学生たちが全国大会に出場できたらいいなと思いつながら練習に励んでいます。

今まで楽しく過ごさせてもらった幸田町で、一人でも多くの人に幸田町でよかったなと思ってもらえるように、地域の活動に取り組んで恩返しをしたいと思います。



はろー  
キッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某月某日  
〜幸田保育園」

「お散歩 大好き」

戸外で体を動かしたり、散歩に出かけるにはちょうど良い季節。0〜2歳児クラスは、すぐ隣の幸田中央公園に、毎日のように出掛けています。鯉の池やローラー滑り台、広いグラウンドなど、魅力的なポイントがたくさんあり、子どもたちにとって、大好きな公園のひとつです。3〜5歳児クラスになると、もう少し足を延ばしてあちこちへへと出掛けていきます。見

送る保育士に、「行ってきま〜す!」と笑顔で手を振りながら、元気よく出発していきます。行き先は、田んぼの畦道だったり、ちよつと遠くの公園や他の保育園など。「ただいま!」と帰ってくる時、手には摘んだ草花がいっぱい。「ヤギがおった!」〇〇ちゃ



んが転んじゃったんだよ」と次々に話す姿から、楽しかった様子が伺えます。幸田保育園の周りは、おすすめの散歩コースがたくさんあります。十分に体を動かした後は、おいしい給食が待っています。モリモリ食べて、ぐんぐん大きくなあれ!

ちよつと  
編集者の  
ひびく

取材の時に付けている『広報こうた』の腕章のおかげで、園児から『こうたさん』と呼ばれることが多い編集者のKです。入学式の取材で訪問した中央小学校でも、新入生から「あこうたさんだ!」と少しテンション高めに呼ばれて、嬉しさが8割、恥ずかしさが2割でした。

さて、新年度を迎えて1カ月が過ぎましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。入園式や入学式に取材でお邪魔させてもらい、フレッシュな姿を見ると、「いつもいいな〜」という気持ちになります。初めてのことに触れた時の新鮮な気持ちをいつまでも忘れずにいたいものです。

4月のイベントと言えば、幸田文化公園で開催されるしだれ桜まつり。開花時期を逃すまいと、3月末から文化広場に通いました。今年は、公園内でも種類や場所によって開花時期にはらつきがあり、こちらは満開だけど、あちらはまだだなくと、満開宣言のタイミングが難しい感じでした。それでも、しだれ桜まつりが開催された4月1日〜10日では、土日を中心に多くの来場者でにぎわい、訪れた人たちの目を惹かせていました。取材の最中に、「すばらしいですね」「癒やされました」と感動の声をたくさんお聞きしました。ありがとうございました。